

第31回年次大会解題

統一テーマ

「業績・業績測定・業績評価とは何かを再考する」

2014年5月17日(土)・18日(日) 於:流通科学大学

大会準備委員長 木村敏夫(流通科学大学)

日本経営分析学会第31回年次大会の統一テーマを「業績・業績測定・業績評価とは何かを再考する」といたしました。テーマとした「業績」等に、共通の理解が存在しそうで存在しない、理解していそうで理解されていない可能性があるのではないかと、思われます。

日本経営分析学会では、情報の利用者の視点等から、株価(時価総額)、諸財務指標、非財務指標等が「企業を分析する指標」「企業を評価する指標」として選択され、研究報告が行われています。これらは、企業の「業績」を示す指標として選択された指標です。業績は投下資源と、投下資源から生み出された“価値”との関係数として測定され、いわゆる“財務業績”として表記されます。しかし、分析者により企業をみる視点に相違があり、企業を評価する視点は立脚者により相違します。

非財務指標が企業評価の大半を占めるとの報告もされています。一方で、非財務情報は結果として財務情報に転換されるとも考えられることから、これまでの財務指標も企業の評価指標とする役割が依然として存在します。さらに、統合報告書も企業を知る情報として開示が進むものと考えられ、益々、企業を見る視点が錯綜する可能性があります。

企業の財務・非財務情報などを利用した業績評価において、評価している方々が実際に行っている評価の視点や、利用している指標等に問題点はないのでしょうか。統一論題報告では、公認会計士、格付機関、研究者の各氏に、それぞれの立場からご報告頂くことを主眼といたしました。

ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

第31回年次大会プログラム

会場：流通科学大学 講義棟 6

5月17日（土） 参加者受付 12：30～16：00 [講義棟 6 1階]

■ 11：00～12：00 理事会 [1階セミナー室]

■ 13：10～14：40 統一論題報告 [6301教室]

テーマ：業績・業績測定・業績評価とは何かを再考する(報告 30分)

司会：田代樹彦(名城大学)

13：10～ 13：40	山田善紀(甲南大学会計大学院・公認会計士) 潜在的なリスクと業績評価指標の課題
13：40～ 14：10	中塚富士雄(株式会社格付投資情報センター市場研究室長) 信用リスク評価と業績指標
14：10～ 14：40	大沼 宏(東京理科大学) 利益の質と企業業績の関係性

■ 15：20～16：20 統一論題討論 [6301教室]

座長：田代樹彦(名城大学)

討論者：山田善紀 (甲南大学会計大学院・公認会計士)
中塚富士雄 (株式会社格付投資情報センター市場研究室長)
大沼 宏 (東京理科大学)

■ 16：30～18：00 通常総会 [6301教室]

■ 18：30～20：30 懇親会 [西神オリエンタルホテル4階 翔雲の間]

※流通科学大学より送迎バスがあります(出発時刻は通常総会終了後です)。

懇親会会場へ直接お越しの場合・・・神戸市営地下鉄西神中央駅下車



5月18日(日) 受付9:30~11:00 [講義棟6 1階]

■ 10:00~11:30 研究部会セッション (報告30分, 質疑10分)

[6301 教室]	[6302 教室]	[6303 教室]
関東研究部会 10:00~10:40	中部研究部会 10:00~11:25	関西研究部会 10:00~11:25
司会:古山 徹 (日経メディアマーケティング)	司会:中野貴之 (法政大学)	司会:田村香月子 (関西大学)
渡辺智信(立教大学大学院) 「減損会計の実態調査と分析」	○第1報告 眞鍋和弘(名古屋外国語大学) 佐藤倫正(愛知学院大学) 「アジア諸国における Relevance 比較」	○第1報告 大西 靖(関西大学) 「非営利組織の存続能力 と会計手法の導入」
ホスピタリティ産業フォーラム 10:45~11:25	○第2報告 向 伊知郎(愛知学院大学) 「概念フレームワークと企業 価値評価」	○第2報告 森 美智代(熊本県立大学) 「医療改革と医療産業の 展開一日独比較分析をと おしてー」
司会:古山 徹 (日経メディアマーケティング)		
板場正義(酒類総研/FBO) 「飲食店におけるメニュー 表示のユーザビリティに関 する研究」		

■ 11:30~12:10 自由論題報告 (報告30分, 質疑10分)

	[6301 教室]	[6302 教室]	[6303 教室]
司 会	青淵正幸(立教大学)	齋野純子(関西大学)	一ノ宮士郎(専修大学)
報告者	眞鍋和弘 (名古屋外国語大学) 千葉 賢 (福井工業大学)	宮川 宏(富士大学)	米岡英治 (ソニーデジタルネットワ ークアプリケーションズ)
テーマ	時変係数モデルによる 株式市場における会計 情報の有効性の検証	企業の情報開示におけ る情報の有用性に関す る研究—アンケート調査 の分析を中心に—	中小企業間連携におけ る役割と企業規模—中小 企業基盤機構の新連携 認定事業の事例から—

※大会参加費は2,000円、懇親会費は4,000円(当日払いは5,000円)です。

※会員控室は、講義棟6の1階「みかんホール」です。

※両日とも昼食の用意はいたしません。学内レストラン(5/17のみ)および学
内ローソン(両日)が営業しておりますので、ご利用ください。

※名札用として、名刺1枚をご提供いただけますよう、お願いいたします。

◇CPE単位認定のご案内◇

本大会は、日本公認会計士協会の継続的専門研修(CPE)の単位取得承認を受け
ております。認定される単位は以下の通りとなります(研修コード:5119)。

5月17日(土) 統一論題報告・討論(13:10~16:20) 3単位

5月18日(日) 部会セッション (10:00~12:10) 2単位